

リサーチ・アドミニストレーターに係る質保証制度の実施

令和3年度要求額 : 59百万円
 (前年度予算額) : 53百万円

リサーチ・アドミニストレーター活動の強化に関する検討会(第11回)
 令和2年10月1日(木)開催【資料3】

背景・課題

○リサーチ・アドミニストレーター(URA)については、大学等において研究戦略、研究支援、産学連携等に関する業務の担い手としてURAIに寄せられる期待が高く、平成23年度以降、その期待に応えるべく各種整備事業等を通じて大学等への配置支援を進めてきた。

○しかし、URAの配置が全国的に進む一方で、専門的な研修機会の不足や、専門人材としてキャリアアップできる体系的なシステムの構築など、実務能力の可視化や雇用環境の在り方といった質的観点からの課題が生じている。

○OURAのさらなる質的充実を図るため、現在、質保証制度開始(令和3年度)に向けた具体的な調査・試行を行っている。制度開始により質の高いURAが持続的に供給されれば、我が国の大学等における研究機能の更なる向上はもとより、知識及び能力の可視化により、URAのキャリアパス構築につながると考えられる。

研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ(令和2年1月23日総合科学技術・イノベーション会議決定)

URAのキャリアパス構築に資する質保証制度の創設(2021年度)

リサーチ・アドミニストレーター活動の強化に関する検討会(平成30年9月)
 リサーチ・アドミニストレーターの質保証に資する認定制度の導入に向けた論点整理

認定制度は、**実務経験と研修の受講**を基に**人材育成の観点から実施**
 ・URAの知識・能力の向上
 ・客観的な実務能力の可視化(保証)を通じた信頼関係確立

↓
**質の高いURAの持続的供給と安定的な雇用環境整備による
 教育研究機能の強化**

事業概要

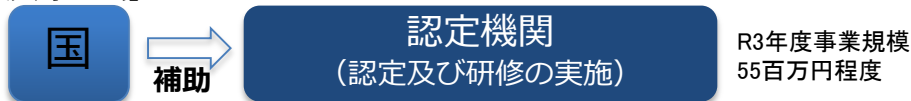
【事業の目的・目標】

認定制度の実施に際し、URAに必要とされる知識の体系的な専門研修受講の機会提供や、実務能力を踏まえた客観的な質保証(認定)を行うため、それらを行う認定機関の運営を支援する。

想定される業務

- 認定機関における各種会議運営、
- 研修の企画・実施及び関連の管理業務(受講生募集、講師依頼、テキスト作成依頼、会場手配、受講者情報及び受講記録の管理等)
- 認定実施及び関連の管理業務(申請者情報の管理、審査員依頼、審査運営等)
- その他、上記に付随する事項

【事業スキーム】



【事業スケジュール】

- R2年度(2020)
 ◆ 試行・検証
- R3年度(2021)～
 ◆ 認定機関設置及び認定制度の実施

委託調査

制度実施の補助金

【事業概要・イメージ】

